

会長就任のご挨拶

一般社団法人日本作業船協会
会 長 斎 藤 保



このたび、会員の皆様方のご推挙を得て一般社団法人日本作業船協会の会長をお引き受けすることとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本作業船協会は海上貿易の活発化に伴い港湾整備事業が急速に拡大する中で、作業船の調査研究の体系化および性能向上を図るために、昭和33年に任意団体として発足しました。昭和39年には、調査研究活動の進展にともない、運輸大臣から設立許可を得て社団法人化いたしました。そして、平成23年には新公益法人法の施行に対応して一般社団法人日本作業船協会と衣替えいたしました。

この間、大規模な浚渫埋立事業に従事する浚渫船や地盤改良船はもとより海洋環境整備船などの作業船の調査研究、技術開発および設計ならびに施工技術に関して、国土交通省および自治体ならびに会員各社のご指導とご支援を得て、積極的に取り組み、時代の要請に迅速に対応してまいりました。また、これらの技術は作業船の輸出を通じて海外諸国の経済発展にも大きく寄与してまいりました。

我が国は古来より海の恩恵を多大に享受して発展してまいりました。これからも海の利活用は我が国の発展にとって極めて重要と考えます。海上交通網の整備と維持、洋上風力発電の建設、津波高潮からの防災など沿岸域の利活用に加えて、遠隔離島の保全も重要な課題になってまいりました。

幸いにも、弊協会は造船、船用機器および港湾海洋建設の皆さまから構成されております。それぞれの持てる能力を存分に発揮いただき、有機的な連携を確保して、我が国の発展に貢献していきたいと考えております。

会員の皆さま、役員の皆さま、顧問の皆さまの引き続きのご支援、ご協力、また国土交通省をはじめ関係機関のご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。